

<第2次総合計画進行管理表>

施策評価表

作成日 令和4年6月21日(火)

1. 基本事項

施策		農地の保全・活用と安定した農業経営の支援		期間	平成30年度～令和4年度	施策担当部課名	産業振興部 農業振興課
総合計画	大項目	3	活力とにぎわいにあふれるまち	目的・対象	農地中間管理事業による規模拡大などを行う担い手への農地の貸し付けや耕作放棄地の発生防止及び解消のため、担い手による農地の集積・集約を促進します。 新規就農希望者の速やかな就農を支援し、活力ある農業の振興を図ります。また、収益性の高い作物や農業技術、経営改善方法の情報提供を行うなど、農業経営の安定化のための各種支援を行います。	農業農村基盤整備推進事業 農業振興地域整備推進事業 農業委員会運営事務、遊休農地対策事業 農業施策推進事業、農業経営安定化促進事業	
	中項目	1	農業のブランドを高め伝えるまちづくり				
	小項目	1	農地の保全・活用と安定した農業経営の支援				
	主要プロジェクト						
重要度・満足度	重要度及び満足度の双方ともに高い。			施策推進のための主な取組			
施策を取り巻く社会状況等	産業構造の変化による農業者の所得低迷、高齢化や担い手不足による農業就業人口の減少や耕作放棄地の増加などが急速に進んでおり、農業者にとって厳しい状況である。						

2. 評価指標

上段は目標値、下段は実績値

区分	指標名(上段) 算出式・説明(下段)	単位	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
				達成	達成	達成	達成	
成果指標	耕作放棄率	%	-	3.20	3.30	3.40	3.50	3.70
	耕作放棄面積÷全耕地面積		2.90	3.00	2.70	2.70	3.10	
	農業法人等数	法人	-	64.00	65.00	66.00	67.00	68.00
	農業法人台帳		62.00	72.00	72.00	81.00	98.00	

3. 一次評価(今後の施策の方向性)

区分	現状維持	1. 現状維持	2. 拡充	3. 縮小
<p>農業従事者の高齢化や担い手不足により耕作放棄地が増加しているため、引き続き農地中間管理事業により規模拡大する担い手へ農地の集積・集約を促進するとともに、新規就農者等担い手の確保、育成に向けた取組を行う。 農業法人の数については、目標を達成している。引き続き、効率的かつ安定的な農業経営に向け、集落営農の組織化や既存組織の法人化についても推進していく。</p>				
			評価者	産業振興部次長兼農業振興課長 三ツ橋 正記

4. 改善改革プラン(3. 一次評価を受けての具体的な解決策)

区分	具体的な対応策等
<input checked="" type="checkbox"/> 既存事業の拡充	耕作放棄地の発生防止及び担い手への農地集積・集約するために、実質化した人・農地プランをより一層推進するとともに、農地中間管理事業の実施により優良農地を確保していく。
<input type="checkbox"/> 事業の新規立案	
<input type="checkbox"/> 事業の廃止・縮小	
<input type="checkbox"/> 事務事業の再編	
<input type="checkbox"/> その他	

5. 二次評価(所属長の見解)

耕作放棄地の増加を防ぐため、農地中間管理事業を活用し、担い手農家への集積・集約を図る。また、新たな担い手の確保のために認定農業者等を支援し、安定的な農業経営を育成していく必要がある。今後についても引き続き関係機関と連携し事業を実施していくものとする。	
所属長	産業振興部長 佐藤 靖彦